

DeLonghi

(伊)デロンギ社

デロンギ[コーン式] コーヒーグラインダー

Mod.KG-100

Coffee-Grinder

取扱説明書



Made in Switzerland

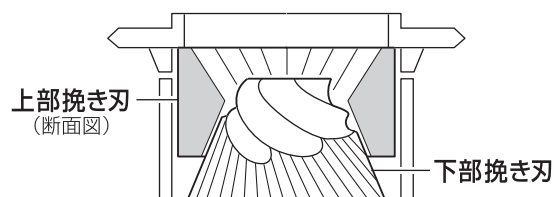
KG-100の特長

●**低速回転なので、コーヒーの風味を損ないません。**

ダブル減速ギアを採用することで、低速回転(約700回転/分)を実現。豆を挽く時の摩擦熱を抑え、コーヒー本来の香りや風味を守ります。

●**コーン式挽き刃が、「挽きムラ」を抑えます。**

プロ仕様のコーン式挽き刃(2枚構成)により、豆を均一に挽くことができます。また、「中粗挽き」からエスプレッソ用の「極細挽き」まで、13段階の粒度選択が可能です。



このたびは、デロンギ[コーン式]コーヒーグラインダー Mod.KG-100をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。


もくじ


・安全上の注意	1～2
・各部の名称とはたらき	3
・使用上のご注意	4
・使用手順	5
・お手入れのしかた	6
・仕様	裏表紙
・アフターサービス	裏表紙

安全上の注意

ご使用の前に、必ずお読みください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の二つに分けて明示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：プラグをコンセントから抜く

5. 各注意事項は、安全のために必ずお守りください。

電源について



注意

・電源は、一般家庭用交流100V／50-60Hzをご使用ください。



コンセントについて



注意

・差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。



プラグについて



警告

・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。



注意

・プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

・プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。



電源コードについて



注意

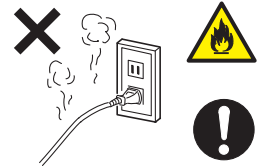
・電源コードは、無理に曲げたり、上に物をのせたり、傷つけないように、大切に扱ってください。



電源コード／プラグについて

警告

- ・電源コードまたはプラグが破損した場合は、直ちに使用を中止して、販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に電源コードおよびプラグの交換を依頼してください。
- ・使用中に電源コード／プラグが異常に熱くなる場合は、使用を中止し、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。



使用上の注意

警告

- ・挽き刃および周辺部分に、指や異物を入れないでください。
- ・上部挽き刃を取り付け／外す際は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・下部挽き刃（本体に固定）外周にあるツメ（2カ所）がホッパー着脱位置からズレた場合は、指を使わず、必ずホッパーを使って修正してください。（詳しくは、6ページ参照）
- ・使用中はその場を離れないでください。また、近くに小さなお子様やペットがいる場合も注意を払ってください。
- ・万一、異常が発生した場合は、直ちに作動つまみを0（＝OFF）に戻し、プラグをコンセントから抜いてください。



注意

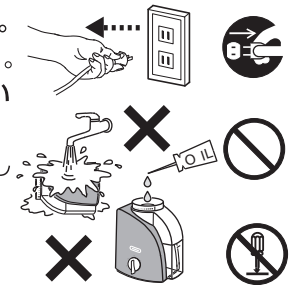
- ・本製品は、コーヒー豆専用のグラインダーですので、他の材料／用途で使用しないでください。
- ・コンテナ（粉受け）を満杯にした状態で挽かないでください。粉が落下口に詰り、モーター故障等の原因になります。
- ・異音がする時は、作動つまみを0に戻してプラグをコンセントから抜き、挽き刃に異物がはさまっていないか確認してください。（異物を取り除く際は、挽き刃で指を傷付けないように注意してください。）
- ・ご使用の際は、必ず上部挽き刃を取り付けてください。
- ・屋外や、水がかかったり湿気の多い場所、直火の近くでは、使用しないでください。
- ・ご使用の際は、本体を安定させるために、必ず電源コードを本体底面のコード留め（凹部）にはめ込んでください。
- ・幼児の手が届く所や不安定な場所で、使用しないでください。
- ・持ち運びの際は、必ず本体を持ってください。ホッパー部分を持つと、本体が外れて落下する恐れがあります。
- ・1分（定格時間）以上の連続運転は、お止めください。
- ・使用しないときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



お手入れについて

注意

- ・お手入れ前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・挽き刃は鋭いので、十分に注意してお手入れをしてください。
- ・挽き刃、本体、電源コード／プラグは、水に浸けたり、水洗いしないでください。
- ・シンナーやベンジン、クレンザーや金だわし等は、使用しないでください。
- ・挽き刃に、潤滑油（ミシン油）等は、使用しないでください。
- ・ご自分で分解したり、修理／改造をしないでください。



各部の名称とはたらき

ふた
豆を挽く際は、必ずふたをしてください。

ホッパー(豆入れ)
ローストしたコーヒー豆を投入します。

グラインド目盛
ホッパーのガイドをこの目盛に合わせることで、ドリップからエスプレッソまで、お好みの入れ方に応じた豆の挽き具合(粒度)を選択します。

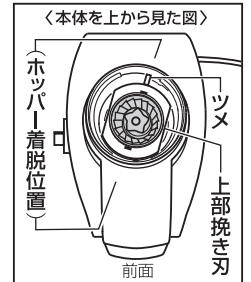
挽き刃
上下2枚の挽き刃(コーン式)で構成されており、上部の挽き刃は、取り外して、お手入れができます。

作動ツマミ(タイマー)
時計方向に回すと挽き刃が回転します。10の位置で、約1分間作動します。
※回転を途中で止める場合は、ツマミを元の位置(0=OFF)に戻します。

作動ツマミ周囲の数字は、コーヒー豆を「中粗挽き」に挽く場合の抽出杯数(1~10杯分)の目安として利用できます。

ガイド(反対側にもある)
ホッパーを着脱する際は、このガイドを本体のホッパー着脱位置(下記参照)に合わせます。

ホッパー着脱位置
ホッパーの取り付け/取り外し(右ページ参照)の基点です。

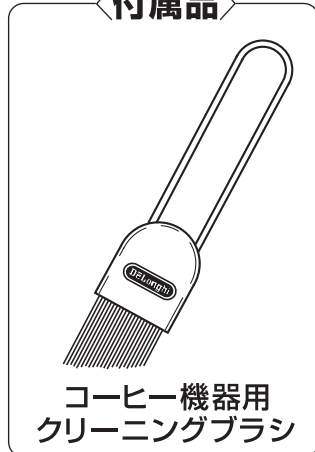


本体

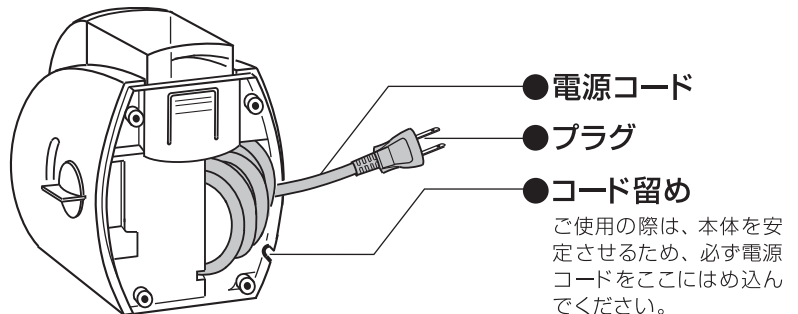
落下口
挽かれたコーヒー粉は、ここを通してコンテナに溜まります。

コンテナ(粉受け)
コーヒー粉が、最大約90g(=Max.)まで入ります。
※予め、ホッパーに投入する豆の量を調節し、Max.を超えないようにしてください。

＜付属品＞



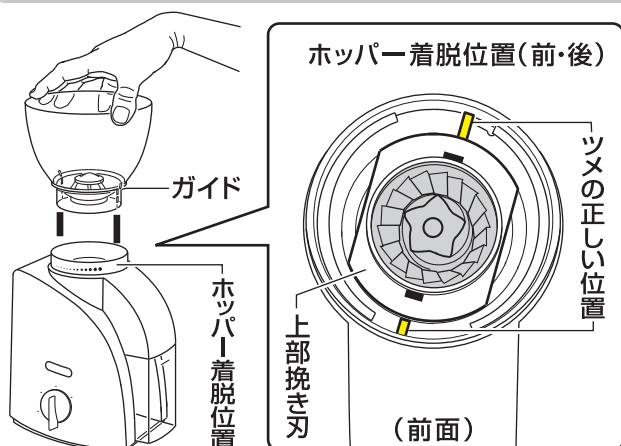
本体底面



使用上のご注意

以下の項目に注意して、ご使用ください。

ホッパーの取り付け／外し方



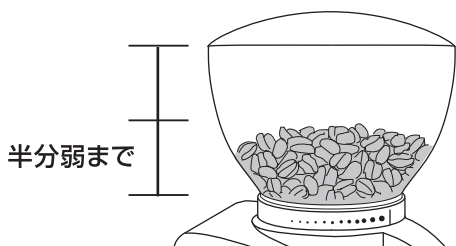
【取り付け方】

ホッパーのガイドを、ホッパー着脱位置にあるツメに合わせて入れ、時計回りにまわします。グランド目盛まで回すと、本体に固定されます。

【外し方】

ホッパーを、反時計回りに必ず止るまで(＝ホッパー着脱位置まで)回してから、上に外します。

1回に挽くコーヒー豆の最大投入量は・・・



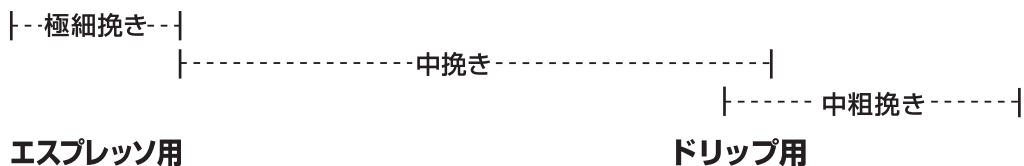
ホッパーには最大で約250gのコーヒー豆を入れることができますが、コーヒー粉を受けるコンテナのMax.(満杯)の量が約90g(★)なので、1回に挽くコーヒー豆の最大投入量は、ホッパーの半分弱までを目安にしてください。

★この量は、目安としてドリップコーヒーが約7～10杯分、エスプレッソコーヒーが約11～13杯分とれる量です。

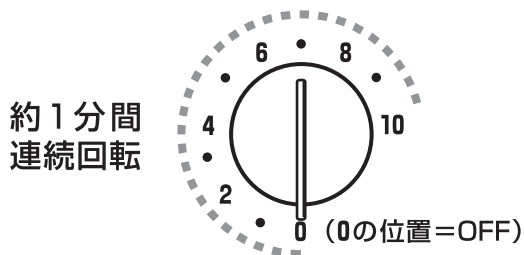
※コーヒー1杯分の粉の量は、お好みで調節してください。

グランド目盛について

コーヒー豆を挽く際の粗さ(粒度)調節は、ホッパーを回してガイドを希望のグランド目盛に合わせることで行います。左端の一番小さい●が一番細かい粉にする位置で、右にいくほど粗くなります。エスプレッソ、ドリップ用と、コーヒーの入れ方／お好みにより、13段階の挽き具合を選択できます。



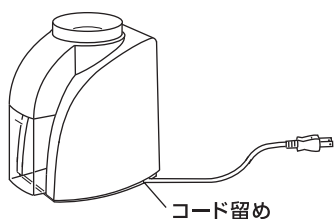
作動ツマミ(タイマー)について



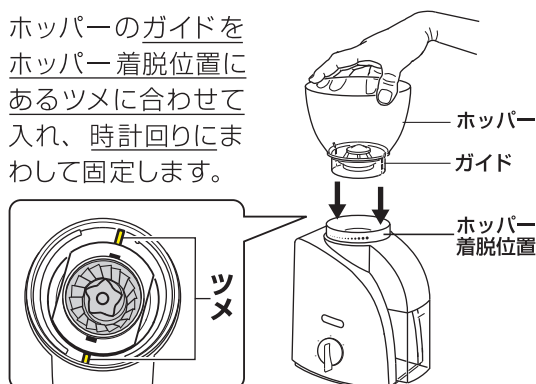
- ・10の位置まで回すと、約1分間(定格時間)作動します。
- ・ツマミ周囲の数字は、コーヒー豆を「中粗挽き」で挽く場合の抽出杯数(1～10杯分)の目安として利用できます。
※「極細挽き」および「中挽き」の場合は、挽く杯数分よりも大きい数字に合わせてください。
- ・ホッパーが正しく取り付け／固定されていない場合は、作動ツマミを回しても挽き刃は回転しません。

使用手順

- 1 電源コードをコード留めにはめ込む**
本体底から電源コードを取り出し、コード留めにしっかりとはめ込んで、本体を安定させます。



- 2 ホッパー(豆入れ)を本体に取り付ける**
ホッパーのガイドをホッパー着脱位置にあるツメに合わせて入れ、時計回りにまわして固定します。



- 3 グラインド目盛を選択／設定する**
ホッパーをまわし、お好みのグラインド目盛にガイドを合わせます。



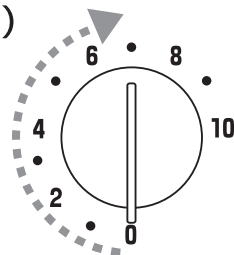
- 4 ローストしたコーヒー豆を必要量だけホッパーに投入し、ふたをする**
1回に挽くコーヒー豆の最大投入量は約90g、ホッパーの半分弱までを目安にしてください。



- 5 プラグをコンセントに差し込んで、作動ツマミを時計回りにまわす(挽き刃が回転する)**

作動ツマミを10に合わせると、約1分間作動します。

※止める場合は、作動ツマミを元の位置0(=OFF)に戻します。

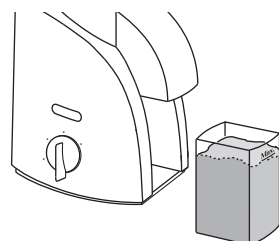


ご注意

- ・ホッパーが正しく取り付けられていないと、挽き刃が回転しません。
- ・多量の豆を挽く場合は、モーターの過熱／故障を防ぐため、1回(最長約1分間連続)使用毎に、必ず3分程の「休み」をとってください。
- ・コンテナ(粉受け)が満杯(=Max.まで粉が溜った)状態で、豆を挽かないでください。

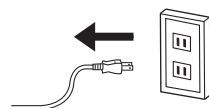
- 6 コーヒー粉／コンテナを本体から取り出す**

コーヒー粉は酸化し易いので、なるべく早く使い切ってください。残った粉は密封容器に入れ、冷暗所で保管してください。



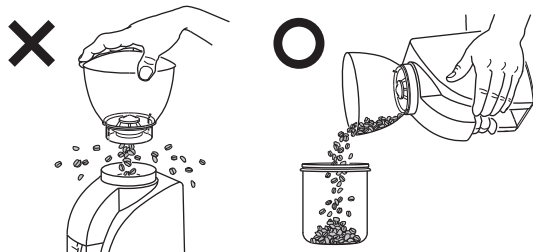
- 7 使用後、プラグをコンセントから抜く**

使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



ホッパーに残ったコーヒー豆を取り出す

ホッパーに残った豆を取り出すには、ホッパーを着けたまま本体を傾け(下右図参照)、容器等に戻してください。ホッパーは底がないので、豆を入れた状態で外すと、豆がこぼれ落ちます。

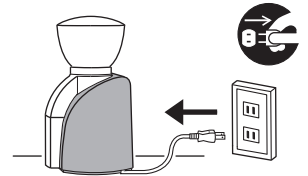


お手入れのしかた

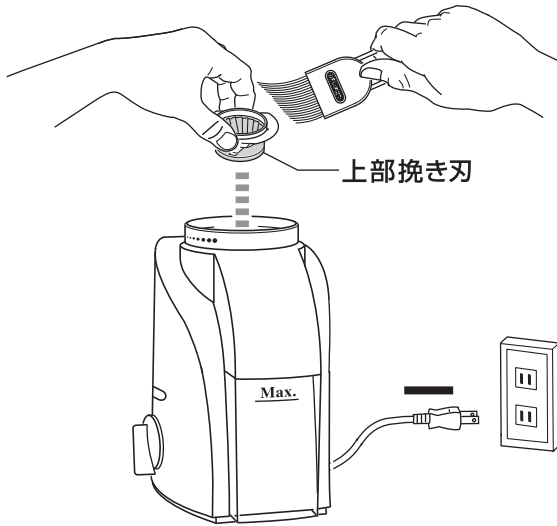
お手入れは、こまめに行ってください。

お手入れ における 注 意 点

- ・事前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・挽き刃は鋭いので、お手入れの際は、十分に注意してください。
- ・挽き刃のお手入れは、こまめに行ってください。挽き刃に付着したコーヒー粉をそのままにしておくと酸化し、新しい粉の香りや風味を損ねます。



〈 挽き刃 〉

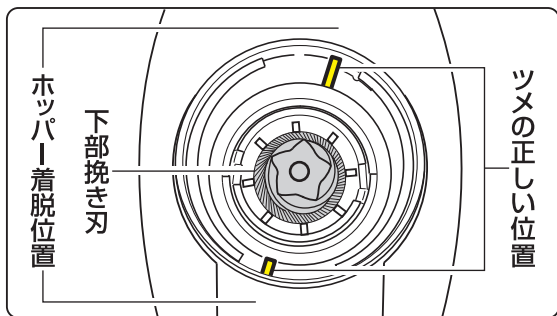


上部挽き刃を外して、お手入れをしてください。
下部挽き刃やその周辺に付着したコーヒー粉も、
付属のブラシ等を使って払い落とします。

【上部挽き刃の外し方】

必ず、プラグをコンセントから抜いてください。

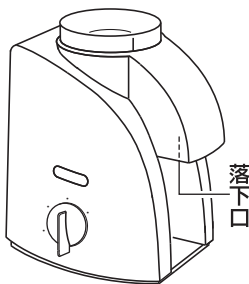
- ① 本体からホッパーを外します。
- ② ツメ(2カ所)が正しい位置 = ホッパー 着脱位置に
あれば、上部挽き刃が取り外せます。
※ズレている場合は、再度ホッパーを取り付けて、
反時計回りに止るまで(=ホッパー着脱位置まで)
まわすことで、修正できます。
- ③ お手入れ後は、ツメの位置を確認し、上部挽き刃を
元の場所にしっかりと取り付けてください。



- 【ご注意】** ・ホッパーは、必ず反時計回りに止るまで
(=ホッパー着脱位置まで)まわしてから、
外してください。途中で外すとツメの位
置がズレ、上部挽き刃が取り外せません。
(また、取り付けも出来ません)。
・ツメの位置を修正する際はホッパーで行
い、指を使わないでください。
・挽き刃は、水に浸けたり、水洗いしな
いでください。

〈 本体 〉

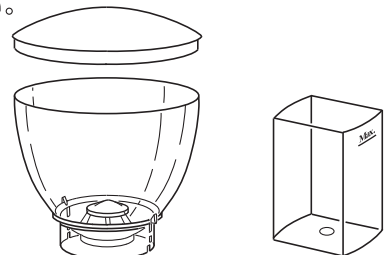
固く絞った濡れ布巾で拭
きます。ひどい汚れは、
少量の台所食器用洗剤を
つけた布で拭き、その後、
固く絞った濡れ布巾で洗
剤をよく拭き取ってくだ
さい。また、落下口に付
着しているコーヒー粉は、
付属のブラシ等で払い落
としてください。



- 【ご注意】** ・水をかけたり、水に浸けたり、水洗いし
ないでください。

〈 ホッパー、コンテナ 〉

台所食器用洗剤と柔らかいスポンジで水洗い
します。本体には、よく乾かしてから取り付けて
ください。



- 【ご注意】** ・クレンザーやベンジン、シンナー、
金だわし等は、使用しないでください。

仕 様

製品名称／型式番号	デロンギ[コーン式]コーヒーグラインダー／KG-100
定 電 圧／周 波 数	交流 100V／50-60Hz
消 費 電 力	120W (50Hz) / 135W (60Hz)
格 定 格 時 間	1分 (連続使用時間)
グ ラ イ ン ド 方 式	コーン式
外 形 寸 法／重 さ	幅135×奥行160×高さ285mm / 1.6 kg
電 源 コードの長さ	1.8m
付 属 品	コーヒーマシナ用クリーニングブラシ

各	部	材 質
本	体	ABS樹脂
ホッパー(豆入れ)		AS樹脂
コンテナ(粉受け)		
挽き刃	刃	複合快削鋼材
	外枠	ナイロン
落	下 口	ポリプロピレン

アフターサービス

- 1) 使用中に異常が生じたときは、直ちに作動ツマミを0に戻し、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めになった販売店または**デロンギ・ジャパン サービスセンター**(下記)までご相談ください。
- 2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1. お求め時期 2. 製品名称と型式番号 3. 故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、宅配便等を利用してデロンギ・ジャパン サービスセンターに直送される場合は、必ず**故障の状況を記したメモ**を同封してください。
- 3) 保証期間中(3年:保証書に記載されているもの)については、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

- 4) **真心点検のお勧め:** 保証期間が過ぎて気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(持込み)をお勧めします。点検の依頼方法、料金等につきましては、下記のデロンギ・ジャパン サービスセンターまでお問い合わせください。



※右の枠内に、製品の購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

年 月 日

- 5) **デロンギ再資源化システム:** ご不用になった製品は、下記の要領に従って、デロンギ・ジャパン サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



【送料】再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

【梱包】製品の入っていた元箱や段ボール箱、エアパッキン等にくるんでください。そして、必ず、表面に「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(下記)までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00まで)

●横浜: 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル

修理について Tel.0120-804-280 / お問い合わせ Tel.0120-064-300 / (共通) Fax.045-450-3291

●大阪: 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

修理について Tel.0120-692-885 / お問い合わせ Tel.0120-692-880 / (共通) Fax.06-6368-2881



デロンギ・ジャパン株式会社

本 社: 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)
大阪支店: 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル Tel. 06-6263-6116(代)



再生紙を使用しています。